

流山市 ^{まえひらい}前平井遺跡

奈良・平安時代(8~9 世紀ごろ)の集落跡です。平安時代の住居跡からは、荘園開発を示す「庄」と墨で書かれた土器が出土し注目されています。「庄」と書かれた土器は、この遺跡から 800m ほど南にある思井堀ノ内(おもいほりのうち)遺跡からも 30 点ほど見つかっています。また、奈良時代の住居跡からは、コハク玉も出土しました。



「庄」と書かれた土器



コハク玉

7月17日に現地説明会を実施しました。猛暑の中、地域住民の方々はじめ多くの参加がありました。

